

■施策評価シート 8-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	市民の健康づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	8-01-①	施策名	市民の健康づくり支援	

施策の概要

市民の健康づくりを推進するため、事業者や地域団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康啓発や生活習慣の改善につながる取組を強化するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援します。また、多くの人が、心身の不調に気づき行動できるよう、ゲートキーパーの養成に取り組むとともに、相談支援のネットワークを構築します。

成果指標(単位)	健康寿命(年)【上段:男性、下段:女性】				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	81.78 85.58	81.87 85.63	81.96 85.69	82.05 85.75
実績値	82.58 85.92	81.93 85.74	82.24 85.16	未確定	

成果指標実績に対するコメント

令和4年度における男性の健康寿命は、令和3年度に比べ0.31年延び、目標値を達成することができた。一方、令和4年度における女性の健康寿命は、令和3年度に比べ0.58年縮まっており、目標値を達成することができなかった(差0.47年)。なお、女性の健康寿命が縮まっていることについては、55～74歳の女性死亡者数が前年度より増加していること等が一因になっていると考えられる。

施策の達成度評価

「健康くさつ21(第2次)」や「第2次草津市自殺対策行動計画」等に基づき、生活習慣の改善や心身機能の維持・向上に資する各種事業を地域の関係団体等とともに取り組むことができた。特に、令和5年度はコロナ禍も一定の収束を迎え、イベントの開催等を通じて、若者世代や働く世代に対し、健康づくりの重要性を周知するほか、こころの健康については、相談支援のネットワークづくりを行うことができた。なお、今後については、令和6年3月に策定した「第3次健康くさつ21」および「第3次草津市自殺対策行動計画」に基づき、市民一人ひとりの健康づくりを促進するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援していく必要がある。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

これまでの取組により、男性の健康寿命は令和3年度から令和4年度にかけて延びている一方、女性の健康寿命は2年連続で縮まっている状況である。引き続き、市民一人ひとりの健康づくりを促進するため、地域の関係団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康啓発や生活習慣の改善につながる取組を進めるとともに、地域の主体的な取組を支援する必要がある。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に取り組む必要がある。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域保健活動事業	人とくらしのサポートセンター	○	地域診断等から各圏域の健康課題を整理し、地域の住民や団体、企業等と協働した取組を行った結果、健康づくりの重要性の理解が向上し、期待どおりの成果を得ることができたため。
健康づくり推進協議会運営事業	健康増進課	○	健康くさつ21(第2次)に基づく取組の評価・課題整理を行うとともに、国や県の動向を踏まえた第3次健康くさつ21を策定することができたため。
健康推進員活動事業	健康増進課	○	市民の健康づくりに関する啓発活動等を各学区の特性にあわせて行うことができたため。
自殺対策緊急強化事業	健康増進課	○	第2次草津市自殺対策行動計画に基づく取組の評価・課題整理を行うとともに、国や県の動向を踏まえた第3次草津市自殺対策行動計画を策定することができたため。また、市民一人ひとりがこころの健康づくりへの関心を高め、互いに支え合うことができる地域づくりを推進するとともに、相談支援のネットワークづくり等を行うことができたため。

■施策評価シート 8-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
食育推進事業	健康増進課	○	第3次草津市食育推進計画に基づき、食生活改善に向けた啓発に加え、草津たび丸kitchenではバランスの良い食事や働き世代向けのレシピを掲載するなど、食育についての学びや知識の普及を図ることができたため。
健康啓発推進事業	健康増進課	○	市内の飲食店や運動事業所と連携した「食と運動プロジェクト～たび丸のベジさんぽマップ～」を展開し、野菜摂取の大切さや運動の重要性等について周知啓発を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
健幸都市づくり推進事業	健康福祉政策課
かかりつけ医等普及促進事業	健康増進課
湖南広域行政組合負担金事務	健康増進課
さわやか保健センター施設管理事業	健康増進課
保健師活動事業	健康増進課
医療関係団体への保健事業事務委託事務	健康増進課
救急医療情報システム運営負担金事務	健康増進課
健康管理システム事業	健康増進課
健康教育事業	健康増進課
健康相談事業	健康増進課
献血推進事業	健康増進課
市民の健康づくり推進事務	健康増進課
精神保健福祉対策事業	健康増進課
健康管理システム事業	子育て相談センター
健康管理システム事業	人とくらしのサポートセンター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 8-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	市民の健康づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	3 17
施策番号	8-01-②	施策名	疾病予防対策の強化	

施策の概要

疾病の予防と早期発見のため、各種けん診、予防接種について、体制の充実や啓発の強化による受診率等の向上を図るとともに、早期対応の勧奨に努めます。また、感染症に関する正しい理解の普及と予防の啓発に取り組みます。

成果指標(単位)	草津市乳がん検診受診率(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	10.4	11.1	11.8	12.5
実績値	9.7	11.2	13.8	11.9	

成果指標実績に対するコメント

草津市乳がん検診受診率については、令和4年度に比べ1.9ポイント減少したものの、節目年齢の対象者への無料クーポン券の送付や個別勧奨通知の発送のほか、イベントでの乳がん触診体験の実施等により、目標値を達成することができた。なお、乳がん検診の受診間隔は2年度に1度であることから、受診率は前年度と今年度の受診者を合わせて2年連続受診者を除いた受診率を用いて評価している。

施策の達成度評価

各種けん診や予防接種について、集団けん診の実施や個別勧奨通知、正しい理解に向けた啓発、予防接種を希望される方が接種を受けられる体制整備等に取り組み、疾病予防対策を進めることができた。今後については、受診率の向上等に引き続き取り組むとともに、コロナ禍を踏まえた感染症への対応や誰もが疾病予防への関心を持ち行動できるよう、環境づくりを行う必要がある。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

疾病の発症予防と早期発見のため、予防接種や各種けん診については、体制の充実や啓発方法の工夫などによる受診率等の向上に取り組むとともに、病気になっても患者や家族等が必要な支援を受けることができる環境づくりを行う必要がある。また、コロナ禍は収束したものの、感染症については、引き続き、正しい知識の普及と予防の啓発等に取り組む必要がある。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
感染症対策事業	健康増進課	○	新型コロナウイルスワクチン接種について、集団接種と個別接種を併用し、接種を希望される方が安全安心に接種できる環境を提供できたため。また、感染症の注意報や警報について、必要な周知・啓発が行えたため。
予防接種事業	健康増進課	○	予防接種法に基づく定期接種については、個別通知を送付するなど、対象者(子どもや高齢者)に、必要な周知啓発が行えたため。また、人生の節目を迎える中3・高3年生に対して子どものインフルエンザ助成を行い、感染症対策等を行えたため。
健康診査事業	健康増進課	○	がん検診については、ナッジ理論を活用した個別勧奨通知の送付や集団けん診の実施回数の拡大、Web予約の導入、イオンシネマでの啓発動画の放映など、受診率向上に向けた各種取組を推進できたため。
歯科保健指導事業	健康増進課	○	節目・妊婦歯科健診の実施等を通じて、口腔衛生の向上を図るとともに、生涯を通じた歯の健康づくりの重要性について周知啓発を図ることができたため。

■施策評価シート 8-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
予防接種事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 8-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用	基本方針に関連するSDGsの目標	3 健康と福祉 17 パートナリシップで持続可能な開発を
施策番号	8-02-①	施策名	国民健康保険制度の運用

施策の概要

保険財政の適正運営と被保険者負担の上昇の抑制を両立していくため、特定健康診査・特定保健指導の実施等による健康の保持・増進と医療費の適正化を図るとともに、被保険者への啓発活動等、制度への理解促進の取組を強めます。

成果指標(単位)	「医療保険制度の適正運用」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	27.5	30.5	31.5	32.5
実績値	25.3	30.1	30.1	32.5	

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査における「医療保険制度の適正運用」に「満足」「やや満足」と回答された市民の割合は、令和4年度と比べて上昇し、令和5年度の目標値を達成することができた。
令和6年度については、引続き資格管理や給付等の事務を適切に行い、国民健康保険制度を適正に運営するとともに、特定健診・特定保健指導の実施率向上に向けた事業を継続して行うことで、医療費の適正化を進めていく。

施策の達成度評価

資格管理や保険給付、医療費助成等を適正に行ったことや、保険財政の健全運営を保ちつつ被保険者負担の抑制を図るよう国保税率設定を行ったことで目標値に近い実績値が得られた。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

適用の適正化や保健事業の積極的な実施により、引き続き、国保財政の健全運営を図る。また、国民健康保険制度の改正時等には、市民への十分な周知・啓発を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
特定保健指導事業	健康増進課	○	特定保健指導において、オンライン面談やイベント型での実施により、利用者の増加に努めた。また、糖尿病性腎症の重症化予防として、電話や訪問で勧奨を行い、かかりつけ医と連携した保健指導の実績の向上に繋がったため。
レセプト管理事業	保険年金課	○	医療費適正化のため、レセプトの管理を適正に行い、また、過誤返戻や本人請求を適切に執行したため。
医療費適正化特別対策事業	保険年金課	○	医療費通知とジェネリック医薬品差額通知の送付を行うことで、医療費の抑制に努めたため。
特定健康診査事業	保険年金課	○	個別健診のほか、被用者保険との連携による集団健診を10回実施し、受診機会の拡充を図るとともに、文書や電話等による受診勧奨を行うことより、受診率向上に努めた。また、糖尿病性腎症の重症化予防として、電話や訪問で勧奨を行い、医療機関受診に繋がった実績が向上したため。
人間ドック等助成事業	保険年金課	○	被保険者の健康保持増進を目的とする本事業について、助成制度利用の積極的な周知啓発を行ったため。

■施策評価シート 8-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
国民健康保険税賦課事務	税務課
特定健康診査事業	健康増進課
国保事業費納付金事業事務(一般被保険者医療給付費分)	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(一般被保険者後期高齢者支援金等分)	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(介護納付金分)	保険年金課
その他共同事業事務費拠出金事業	保険年金課
重複頻回受診訪問指導事業	保険年金課
一般被保険者高額介護合算医療事業	保険年金課
一般被保険者高額療養事業	保険年金課
一般被保険者等療養事業	保険年金課
一般被保険者療養給付事業	保険年金課
国保運営協議会運営事業	保険年金課
国保連合会負担金拠出事務	保険年金課
国民健康保険給付執行事務	保険年金課
出産育児一時金事務	保険年金課
出産育児一時金支払手数料事務	保険年金課
審査支払手数料事務	保険年金課
葬祭給付事業	保険年金課
退職被保険者高額介護合算医療事業	保険年金課
退職被保険者等高額療養事業	保険年金課
退職被保険者等療養事業	保険年金課
退職被保険者等療養給付事業	保険年金課
傷病手当金事務	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(退職被保険者等医療給付費分)	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(退職被保険者等後期高齢者支援金等分)	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 8-02-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用	基本方針に関連するSDGsの目標	3 17
施策番号	8-02-②	施策名	後期高齢者医療制度の運用

施策の概要

被保険者への制度周知や健康診査等の保健事業による健康の保持・増進と医療費の適正化を図るなど、後期高齢者医療制度を適正に運用します。

成果指標(単位)	後期高齢者医療保険料収納率(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	99.64	99.64	99.64	99.64
実績値	99.75	99.73	99.74	99.73	

成果指標実績に対するコメント

後期高齢者医療(現年分)の収納率は、令和4年度に引き続き、高い値であった。

施策の達成度評価

定期的な電話や催告書の送付等による働きかけや、納付相談等を積極的に実施することにより、高い収納率を維持することができた。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

収納率のさらなる向上を図るため、引き続き、従来の取組を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
後期高齢者健康診査事業	保険年金課	○	滋賀県後期高齢者医療広域連合より委託を受け対象者に健康診査受診券を送付し、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査事業を進めたため。
後期高齢者医療保険料徴収事務	保険年金課	○	定期的な電話や催告書の送付等による働きかけや、納付相談等の実施により、高い収納率を維持することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
後期高齢者医療事務	保険年金課
広域連合医療費負担金事務	保険年金課
広域連合事務負担金事務	保険年金課
広域連合審査手数料負担金事務	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 8-02-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用		基本方針に関連するSDGsの目標	3 17
施策番号	8-02-③	施策名	福祉医療費の助成	

施策の概要

社会的に弱い立場の方の医療費負担軽減を図るため、心身障害者、重度心身障害老人等を対象に医療保険適用医療費の自己負担額の一部もしくは全部を助成します。

成果指標(単位)	対象者(心身障害者(児)、重度心身障害老人)1人あたりの年間助成額(千円)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	125	125	125	125
実績値	122	117	118	128	

成果指標実績に対するコメント

1人あたりの医療費については、近年の実績を上回り、助成対象者の医療費負担の軽減に寄与できた。

施策の達成度評価

令和5年度も前年度に引き続き、助成対象者の医療費負担の軽減に寄与した。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

引き続き制度の周知も含め、適切に助成事業を進めていく。また、令和6年度より精神障害者保健福祉手帳1級保持者を助成対象者として制度を拡大し、さらなる医療費負担の軽減に努める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
心身障害者福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。
重度心身障害者老人等福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ひとり暮らし寡婦福祉医療助成事業	保険年金課
ひとり暮らし高齢寡婦福祉医療助成事業	保険年金課
心身障害者福祉医療事務	保険年金課
精神障害者精神科通院医療事務	保険年金課
精神障害者精神科通院医療助成事業	保険年金課
精神障害老人精神科通院医療助成事業	保険年金課
老人福祉医療事務	保険年金課
老人福祉医療助成事業	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。